

美術館だより

開館五周年記念

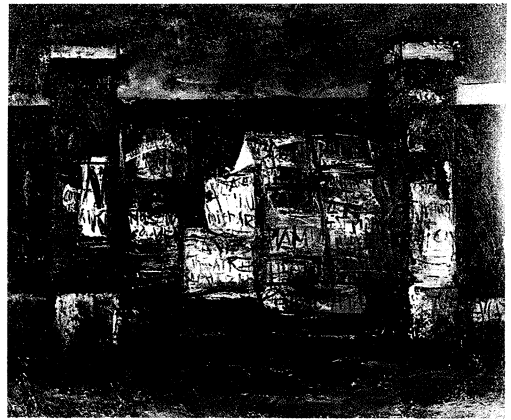
「日本のフォーヴィズムの一断面」展

会期 七月一日(土)〜八月六日(日)
会場 県立美術館

西欧的な近代化が進んだ一九二〇年代から三〇年代の日本は、美術の分野においても抽象美術やプロレタリア芸術など、多様な芸術観や世界観に立脚した絵画が登場し、さまざまな表現が試みられました。その中であって、第一次世界大戦の終結とともに、日本から若い画家たちが渡欧し、ヨーロッパの新しい造形思考を日本にもたらしました。とりわけ彼らが強い関心を示したのは、マティスやヴラマンクら



三岸好太郎「お面の男」一九二九年



佐伯祐三「門と広告」1925年

フォーヴィズムの画家たちの絵画でした。一方、油彩という西洋絵画の技法によりながら、日本的な絵画の創出をめざした画家たちもいました。

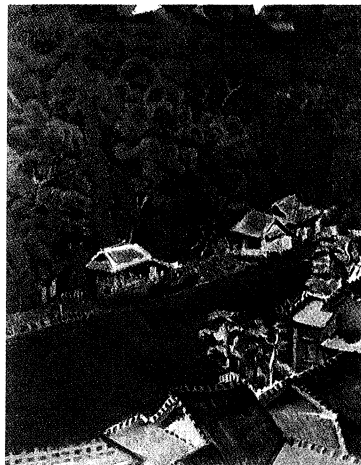
この展覧会では、フォーヴィズムの芸術の持つ、色彩を基調とした表現、意識的な歪形、画面の平面化と単純化などの造形上の特徴や、主観的な表現などをとりいれながら、独自の表現をつくりあげようとした二十一人の画家たちの、一九一九年から一九四一年の間に描かれた作品百余点を展示し、日本の洋画史のなかで大きな位置を占める「日本のフォーヴィズム」の意義と成果を見ようとするものです。

主な出品作家

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 梅原龍三郎 | 児島善三郎 | 佐伯 祐三 |
| 里見 勝蔵 | 須田国太郎 | 鳥海 青児 |
| 長谷川利行 | 林 武 | 前田 寛治 |
| 三岸好太郎 | 安井曾太郎 | |

観覧料

- 一般・大学生 八二〇円(六六〇円)
- 高 校 生 六一〇円(四六〇円)
- 小・中学生 四一〇円(三〇〇円)
- ()内は二〇名以上の団体料金



梅原龍三郎「城山」1937年

開館五周年記念事業

県立美術館は、7月22日(土)に開館五周年を迎えます。それに前後して、開館を記念するユニークな三回の企画展を開催するほか、7月22日から30日までを記念週間とし、多彩な行事を予定しています。その主なものを紹介します。

- ミュージアムコンサート(無料) 22日17:00〜18:30
- 創作広場(自由参加) 23日10:00〜16:30
- 水彩画教室(17名) 26日10:30〜16:30
- 親と子の美術教室(各10組) 25日13:30〜15:30
- 28日10:00〜12:00
- 27日13:30〜15:30
- 29日10:00〜12:00
- 29日13:30〜15:30

公開制作(見学自由)

映画会(無料)
記念講演会(無料)

30日14:00〜17:30
29日10:00〜13:00
29日13:30〜16:00